



2026年7月8日

報道関係者各位

日鉄興和不動産株式会社

全国初 川崎市と世界的企業など 19 社が協働する新たな枠組み 『KAWASAKI NATURE LOOP グローバルプラットフォーム』に参画 ～みどりと生物多様性の“見える化”を軸に都市モデルを構築～

日鉄興和不動産株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：三輪 正浩）は、川崎市が2026年7月8日に設立した「KAWASAKI NATURE LOOP グローバルプラットフォーム」（以下、「本プラットフォーム」）に参画することとなりましたので、お知らせいたします。

本プラットフォームは、市内に立地する世界的企業など 19 社との協働により、自然と都市が共に成長する持続可能な好循環の創出に向けて取り組む新たな枠組みです。

■ KAWASAKI NATURE LOOP グローバルプラットフォームについて

社会経済の安定には気候変動へのリスク軽減が必要であり、脱炭素や資源循環と合わせて、自然生態系が有する機能を活かして社会課題の解決につなげようと、世界的に生物多様性への関心が高まっています。川崎市は、次の 100 年のめざすべき方向性を示す「みどりの将来像」において、ネイチャーポジティブ（自然再興）や気候変動対応など、地域・地球環境課題の解決につなげることをしています。

ESG 投資※1が世界的に進む中で、企業においても、自然関連の情報開示を行う動きが進んでいます。こうした状況を踏まえ、市内に立地する世界的企業など、設立趣旨に賛同した 19 社との協働により、みどりと生物多様性の評価に関する議論を中心に行う新たな枠組みを川崎市が全国で初めて※2設立します。川崎市は、この枠組みで、世界からも評価される好循環を生み出す取り組みをけん引するため、みどりと生物多様性を見る化することにも、自治体として初めてチャレンジし、本プラットフォームでの議論を市民・企業・団体・大学・金融機関など、多様な主体が自ら参画する総合的な取り組みの発展につなげていきます。

当社は、これまで取り組んできた緑や生物多様性に配慮したまちづくりの知見を活かし、参加者との議論や情報交換を通じて、気候変動や社会課題の解決に向けた取り組みの推進につなげることを目的に、本プラットフォームに参画します。

※1 ESG 投資：非財務情報である ESG（環境・社会・ガバナンス）に関する情報を考慮する投資

※2 川崎市調査による

PR ロゴの作成（自然と都市が共に成長する好循環を生み出す活動を PR する際に使用）



KAWASAKI
NATURE LOOP

みどりで、つなげる。みんなが、つなげる。

1つ1つは
多様な葉っぱのみどりが、
かわさきの「川」、NATURE(自然)の「N」をあらわします

全体として、川崎市 7 区が輪になって、
自然と調和し成長する好循環を
生み出している様子を表現しています



■ 設立発表会の開催について

本プラットフォームの設立にあたり、川崎市長より「このような企業との協働により、みどりと生物多様性の評価などについて議論を行うプラットフォームの設立は、全国初となります。本日お集りの皆様と、みどりと生物多様性の評価などに関する議論を行い、自然と都市が共に成長する好循環を生み出す取組を進め、脱炭素、サーキュラー、ネイチャーポジティブの統合的な貢献へとつなげてまいります。」と今後の抱負と期待のお言葉がありました。



ネイチャーポジティブの実現に向けて市内の企業など19社との協働による新たな枠組み「KAWASAKI NATURE LOOP グローバルプラットフォーム」設立発表会の様子（川崎市役所にて）

1. 名称： KAWASAKI NATURE LOOP グローバルプラットフォーム
2. 日時： 2026年7月8日（水） 設立発表会…10:00～10:30
第1回会議…10:30～12:05
3. 場所： 川崎市役所本庁舎3階301会議室
4. 参加者： 川崎市長、川崎市、企業19社、有識者・学識者、等
5. 内容： 発表会（1）出席者紹介
（2）「みどりの将来像」のコンセプト説明、ロゴ発表
（3）プラットフォームの設立発表（設立趣旨や取組内容を紹介）
会議（1）有識者講演
（2）学識者講演
（3）緑の効果的な誘導に関する検討について
（4）意見交換

※本プラットフォームの詳細は、川崎市の報道資料をご覧ください。

URL：<https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000181078.html>



[アドバイザーからのコメント]

■MS&AD インシュアランスグループホールディングス フェロー 原口 真 様

地球環境問題が深刻化する中、対策として大規模なインフラの整備に限界がありみどりの力が重要で、国際的にも語論が高まっています。企業が集まって、点と点をまとめてマネジメントする取組は世界的にも先進で画期的です。川崎モデルが世界のモデルになるよう期待しています。

[企業からのコメント]

■株式会社 JERA 執行役員（電源立地・環境調査統括部長） 中島 研二 様

ネイチャーポジティブへの関心が急速に高まっているなかで、企業としてもこの機会はありがたいと思っています。このプラットフォームの中で、わが社も調査に協力させてもらい、みどりと生物多様性の見える化に貢献させていただくことで、ネイチャーポジティブに少しでも力になりたいと思います。この取組が全国にも広がることを期待しています。

■株式会社東芝 プロセス改革統括部 環境推進室 ゼネラルマネジャー 滝波 航也 様

私たちも、生態系への配慮や自然保護などで地域と連携して取り組んでいます。その中でこの度の川崎市でのプラットフォームに参加させていただくことに大変光栄に思っています。企業単独では限界があり、専門的な知見も参考にさせていただき、官民連携の実践の場となっていくことに期待し、わが社も一員として取り組んでまいります。

■KAWASAKI NATURE LOOP グローバルプラットフォーム構成（敬称略）

□学識者

- ・森章（東京大学 先端科学技術研究センター教授）
- ・内田圭（東京都市大学 環境学部准教授）

□企業 ※50 音順

（大規模企業）

旭化成株式会社、味の素株式会社、ENEOS 株式会社、花王株式会社、キヤノン株式会社、
JFE スチール株式会社、株式会社 JERA、東京ガス株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社、株式会社東芝、
日本ゼオン株式会社、日本電気株式会社、富士通株式会社、株式会社レゾナック

（不動産企業）

東急不動産株式会社、日鉄興和不動産株式会社、三井不動産株式会社

（金融）

川崎信用金庫、横浜銀行

□オブザーバー（経済、金融）

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会



日鉄興和不動産

News Release

□アドバイザー

- ・原口真(MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社 フェロー)
- ・堀江隆一(CSR デザイン環境投資顧問株式会社 代表取締役社長)

〈本件に関するお問い合わせ先〉

日鉄興和不動産株式会社 広報室 PR 事務局 担当:福田
電話:080-2367-5156 E-Mail:tomomi.fukuda@nskre.co.jp

日鉄興和不動産株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目8番1号 赤坂インターシティAIR
Tel.03-6774-8000 (大代表) Fax.03-6774-8328 <https://www.nskre.co.jp>